

ことばを育てるヒント。。。『仲間あつめ』

前回はカードを用いたあそびをご紹介しましたが、今回は聞いて答えるあそびです。

カードや事物など視覚的な手がかりがない分、難しいかもしれませんが、大人のヒントを聞きつつ頭の中の引き出しからいろいろなことばを出す練習をしてみましょう。

いつの間にかたくさんのことばを知っていることに、大人がびっくりするかも知れませんね。

【いろいろな仲間あつめ】あそび：順番に、または手をあげて発表します。

「〇〇なものは何？」とテーマにそったことばを集めます。

- ① 用途別：風呂で使うもの、食事の時に使うもの、寒い時に使うもの など。
- ② 色や形：赤いもの、三角のもの など。
- ③ ようすことば：かたい/やわらかいもの、冷たい/熱いもの、甘い/辛い/しょっぱいもの など。
- ④ 文字数：「2文字」のことば、「3文字」のことば など。
- ⑤ 動詞：「はる」もの。こたえの例：ゼロハンテープ、絆創膏、シール、のり など。
「かける」もの。こたえの例：そうじき、めがね、布団、電話 など。
「ふく」もの。こたえの例：テーブル、ラッパ、ロウソクの炎、シャボン玉など

*こわいもの・好きなあそびの名前など、子どもがテーマを決めても楽しいですね。

身の回りの事物や本・カードなどを持ってきて発表するのも楽しいと思います。

～乳幼児期の育ちを考える～

続『食べて健やかに生きる価値』を感じる 非認知能力が育つエピソード

「はなちゃんのみそ汁」という本があります。ブログの投稿が話題となり当時ドキュメント放映などもありました。（その後の話もあり）

はなちゃんの母親は乳がんで、片側乳房全摘出しましたが、その後妊娠が分かり悩んだ末、はなちゃんを出産します。しかし、その後転移が見つかります。そこから彼女は残していくだろう夫と娘へのバトン渡しを始めます。それは家事。

『私がいなくなっても料理ができる旦那なら安心です。なぜなら、ご飯を作ることは生きることと直結しているからです。ムスメにも包丁を持たせ、家事を教えます。勉強は二の次でいい。健康で生きる力が身につけば、将来どこに行っても何をしても生きていける。』

5歳になったはなちゃんは、包丁を使って朝食作りを任される事に。

そこには母の愛情こもった教えがありました。

『見ていたら包丁使いがかなり怖いのですが、声と手を出したいところをぐっと我慢』

彼女は子育て全般に通じる言葉を残しています。
「子どもに何かを教える時、一番大切なことはできるだけ子ども自身に考えさせ、経験させ、完結させることなんだよね。」

米とぎを任せる時に「米一粒の中には七人の神様がいるんだよ。」と話す。はなちゃんは丁寧に扱おうとしますよね、凄い人だと思います。

実体験がどれほど子どもの力になるのかが分かる、そして短くても見守られた濃密な時間は、はなちゃんを幸せにしていると思います。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます
夢と希望もてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
電話 0797-71-1141(市役所)
0797-77-2132(直通)
FAX 0797-71-1891
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。